

(定例)

(報告 田 中)

鍋 割 山 (標高：1, 332m) 赤城山系

【日 時】 25年1月27日 (日) (1日)

【メンバー】

P & L 小川国

深谷、中込、蓑島、黒須

岩田、中村、平野幸、田中

男 5名

女 4名 計9名

【行動記録】

大宮 (6:17) - 川越 IC - 前橋 IC
C - おのこ駐車場 (9:30) - 姫百
合駐車場 (10:22 - 11:05)

… 荒山風穴 (11:58 - 12:08) … 荒山高原 (12:18) … 鍋割山 (1
3:15 - 13:45) … 荒山高原 (14:40 - 14:50) … 姫百合P (15:
20 - 15:50) - 富士見温泉 (17:05) - 前橋 IC - 川越 IC - 大宮 (2
0:30)

上り2時間 下り1時間35分

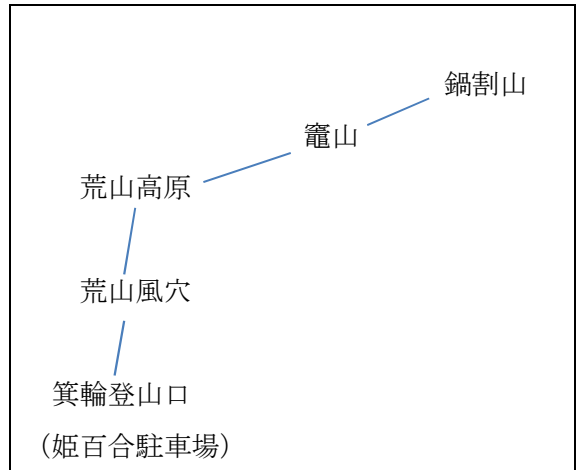
【装備・食料等】

≪共同≫ ツエルト3個、旗

≪個人≫ 携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、防寒衣、ス
パッツ、ストック又はピッケル、アイゼン (10本爪)、ワカン、ゴー
グル、昼食、テルモス、非常食、水

【感 想】

車は関越道を前橋 IC に向かって走っていたが、左手の榛名、妙義は青空の下に、
はっきり姿を見せていたが、目指す右手の赤城山は灰色の雲の中にあった。前橋市
内に入ると雪がうっすらと積もっていた。道路には急遽タイヤにチェーンをつける
トラックが止まるなど渋滞を引き起こしていた。黒檜山に登る予定でおのこ駐車場
に着いたときは雪が舞い、風もあった。行き先を水沢山に変更して、山を下ってい



くうちに上空に晴れ間が見えだした。再度、行き先を鍋割山に変更した。箕輪登山口はすぐ近くにあった。車を姫百合駐車場に停めて、身支度を始めたが、駐車場には、救急車や消防車が次々到着して騒がしかった。下山してから話を聞いたのだが、昨日隣の荒山で50代前半の男性が滑落遭難をし、その捜索を2日に亘って行っていた。私達が鍋割山に登っている間、2機のヘリが周辺を低空飛行で飛び回っていたが、遭難者の姿を発見することは叶わなかったようだ。荒山高原や山頂に群馬県警の職員や消防士が無線で連絡を取りながら懸命に捜索活動を続けていた。

私達は、初めからアイゼンを装着し、ヘリの音を聞きながら、山頂を目指した。積雪は50cm以上あったが、千葉から来ていた団体や多くの先行のハイカーがいたため、道はしっかり踏み固められて歩きやすかった。荒山高原を過ぎると、ピークがいくつかあり、火起山、竈山の名が付けられていた。天気はすっかり回復していて、上信越国境の山々や富士山の姿も見ることができた。

下山後は、見晴らしの湯ふれあい館により、帰途に着いた。